

# RapidPLUS

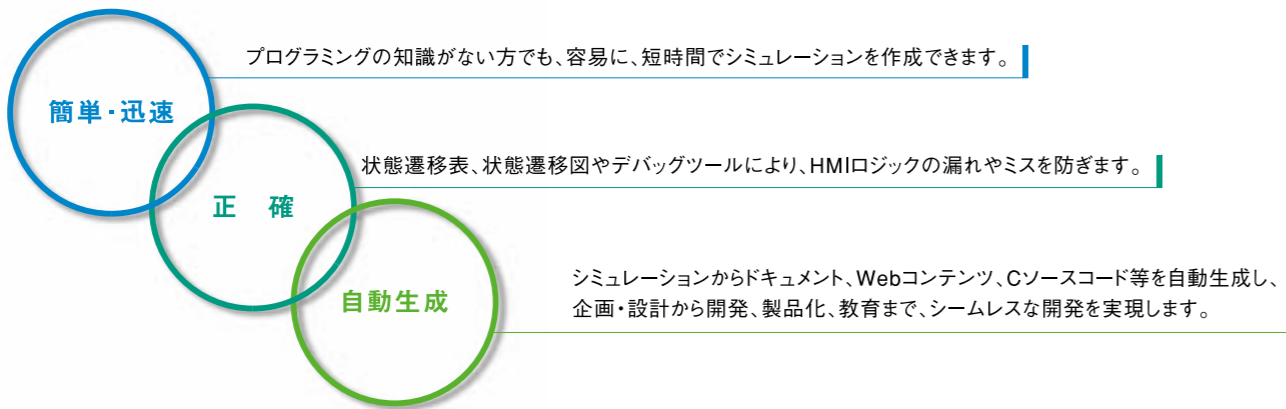
組込み製品のプロトタイプシミュレーションをPC上で完全に実現

新技術・新製品が次々と登場する現代、製品は高性能化し、複雑化してきています。

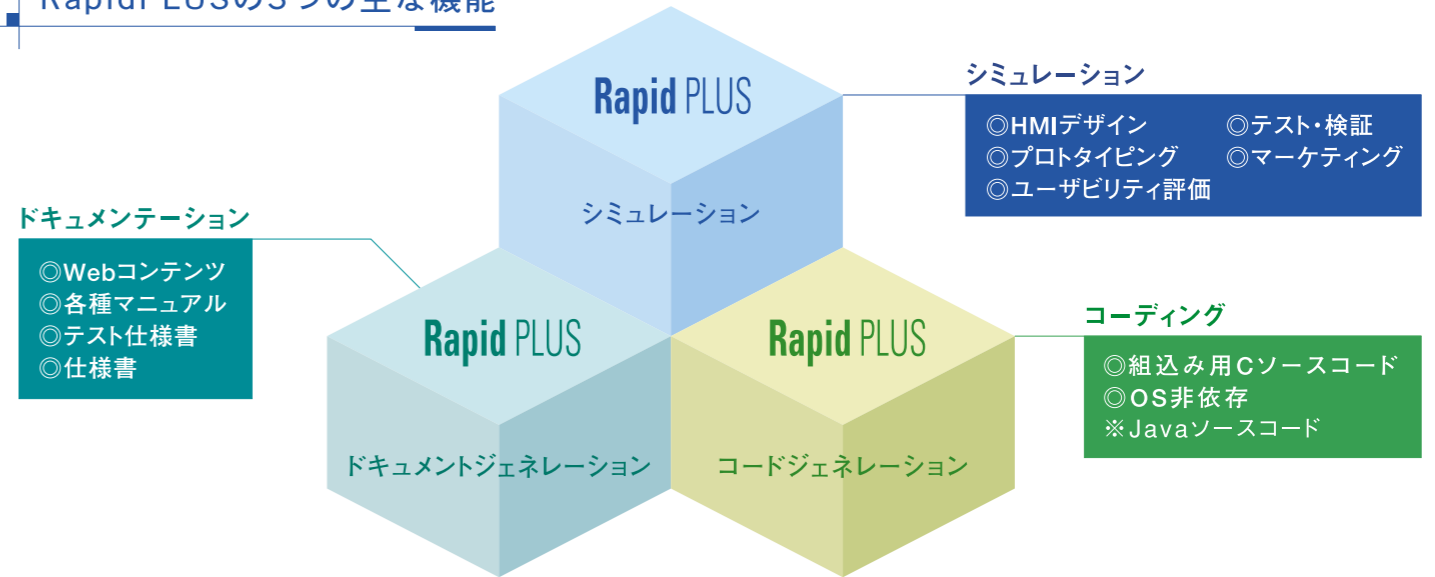
この複雑な製品のヒューマンマシンインターフェース (HMI) 開発は、複雑さを極め、開発者の負担を増加させています。

このような状況の中、HMIの開発手法として、今、プロトタイプシミュレーションとコードジェネレーションが必要とされています。

RapidPLUSはHMI開発に革新をもたらします。



RapidPLUSの3つの主な機能



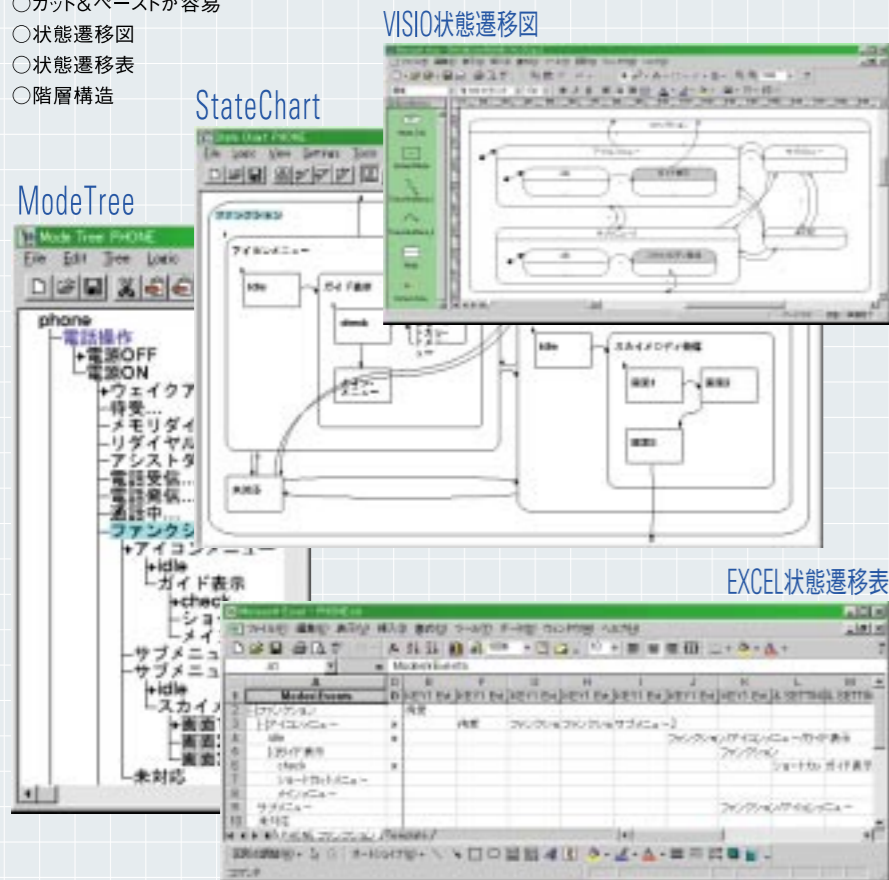
## RapidPLUS Tools

RapidPLUSのツール群

RapidPLUSには、アプリケーションをPC上でリアルにシミュレーションするためのツール類が豊富に装備されています。これらの優れたツール類がユーザのHMI開発を完全にサポートします。

**Mode Tree / StateChart** 機器の状態を記述するツールです。

- カット＆ペーストが容易
- 状態遷移図
- 状態遷移表
- 階層構造



**ProtoTyper**

シミュレーションをPC上で動作させるツールです。

- コンパイル無しに動作確認
- ModeTreeと連携
- ユーザビリティ評価 (録画・再生機能装備)
- シミュレーションのActiveX化可能

**Debugger**

デバッグ作業を効率的に行うツールです。

- 動作ログの記録
- ブレイクポイントの設定やステップ実行
- オブジェクトの内容表示



**ObjectLayout / ObjectEditor**

シミュレーションの部品を配置/編集するツールです。

- 豊富な部品群 (タイマ、変数、音源等目に見えない部品も装備)
- Windows画像ツールから取り込みが容易
- リアルなGUI
- 部品の編集も簡単
- DLL、ActiveX使用可能

**LogicPalette**

状態遷移の条件や実際の動作を設定するツールです。

- 豊富な関数群 (各部品毎に必要な動作を関数として用意)
- マウスでクリックするのみ

